

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：国防医学院（台湾）

Q. 今回の留学プログラムの感想	NDMCの先生方や学生さんが信じられないほど親切に迎え入れてくれたため、想像していた以上に英語でのコミュニケーションをとることができました。みなさんの英会話スキルの高さに刺激を受け、留学前よりも医療英会話・医学英語を学ぶモチベーションが高まったように思います。また、海外に2週間滞在するという経験自体が初めてだったため、現地で起こったアクシデントに対して自力で対応する貴重な機会を得られたと感じています。
Q. 健康管理や危機管理について	寮のベッドが身体に合わず最初は睡眠がとれなかったのですが、ホテルに移動した後は問題なく生活することができました。ホテル滞在が病院へのアクセスや現地の学生さんとのコミュニケーションの妨げになることがなかったので良かったです。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	これまで留学経験がなく、留学前はかなり不安が強かったのですが、帰国後の今は参加して本当に良かったと感じています。現地の先生方や学生さんは留学生を受け入れることに慣れている様子で、こちらが拙い英語で話しても粘り強く親切にコミュニケーションをとろうとしてくれます。留学に行くか迷っている学生さんはぜひ参加するとよいと思います！
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	去年より事前の提出書類が増えていたようで大変でした。現地での実習にあたり医学英単語の知識不足や学生さんとの英語でのコミュニケーションに不安がありました。

留学中のお気に入りの写真



コメント：台湾で一番高いビルの台北101です！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）： 台湾国防医学院（台湾）


<p>Q. 今回の留学プログラムの感想</p>	<p>初めての海外留学だったのですべての経験がとても新鮮でした。私は中医学と小児科を選択したのですが日本との医療の違いを感じることができましたし、見学というよりも実技を積極的に体験させてもらったのでとても勉強になりました。中医学では漢方や鍼灸、カッピングなどを同級生同士で体験しあい、実際に先生が患者さんの治療を行っている場面も見ることができました。小児科ではカンファレンスが台湾語だったのですが、現地学生が要所所で英語に訳してくださったので分かりやすかったです。日本と同じように血液、代謝、循環器、腎臓、新生児などのグループに分かれており、さらに小児専用の救急やPICUなどの施設も充実していました。腰椎穿刺や新生児の全身診察などを体験することができました。学生全体の実習ではICUや救急、手術室の見学を行いました。日本と異なりICUが神経や小児、火傷など細分化されていたのが印象的でした。この留学を通して現地の様々な学生と交流することができ大変嬉しかったです。この関係は一生の宝物だと感じました。</p>	<div data-bbox="1153 375 1747 454" data-label="Caption"> <p>留学中のお気に入りの写真</p> </div> <div data-bbox="1220 422 1904 1061" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1153 1308 1635 1348" data-label="Caption"> <p>コメント：マンゴーかき氷のボリュームに驚きました！</p> </div>
<p>Q. 健康管理や危機管理について</p>	<p>治安は良さそうでしたが念のため荷物は常に肌身離さず持ち歩くようにしていました。水道水を飲まないようにしていました。脂っぽい料理や辛い料理が多いのでお腹の調子が悪くなってしまう同級生が数名いました。2週目に体調を崩してしまったのですが、同級生が様々なところでサポートしてくれたので感謝の気持ちでいっぱいです。医科歯科で以前配布されていた迅速検査キットも持参していたのでしっかり使用できました。ありがとうございます。</p>	
<p>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>何よりも実習内容が充実しておりとても実りのある2週間でした。現地学生とお話する機会がたくさんあるので台湾の文化や習慣を知ることができ、美味しい食事も満喫することができます。海外留学は少しハードルが高く感じられますが、奨学金や大学基金から経済的な支援も頂けるので、少しでも興味がある方はぜひ応募してみてください！</p>	
<p>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>海外で2週間も過ごすことが今まであまりなかったので緊張しました。英語力にも不安がありました。</p>	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：台湾国防医学院

<p>Q.今回の留学プログラムの感想</p>	<p>常に台湾の学生と一緒に行動していたこともあり、現地の学生とはコミュニケーションを多くとることができた。自分はあまり社交的なタイプではないが、この留学を通して以前より少しは社交的になることができたかなと思っている。実習に関しては、自由選択で中医学とリウマチ・膠原病を選択した。日本ではあまり学べない中医学について勉強できたのはとても良かった。非常に優しい先生方が、針灸や漢方などについて丁寧に押ししてくれる。リウマチ・膠原病の先生は、英語がなまりが強く聞き取りにくい点はあるが、非常に教育熱心で良い先生だった。まとめると、初めての台湾だったが、現地の学生のおかげで非常に中身の濃い二週間を過ごすことができた。</p>	<p>留学中のお気に入りの写真</p>  <p>コメント：台北市内のアイススケート場に行ったときの写真です。ヘルメットたくさん被らさ</p>
<p>Q.健康管理や危機管理について</p>	<p>下痢しやすいので、整腸剤は多めにもっていきようとした。夜市ではなるべく加熱されたものを選ぶようにしていた。また、台湾国防医学院の学生証はなくさないように！自分はなくしてしまって、追加で500台湾ドル払う羽目になった。</p>	
<p>Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>台湾国防医学院の特徴は、現地の学生と非常に多くの交流をすることができる点だと思います。授業が終わった後は、サッカーをしたり、夜市に出かけたりなど毎日一緒に遊びに行っていました。また、週末には台湾南部の高雄という所まで一緒に旅行にも行きました。授業以外でも現地の学生とたくさん関わりたいという人には非常におすすめです。ちなみに、3人一部屋の寮生活なので日本人同士の中も深まりやすいと思います。とても楽しい二週間を過ごせると思います！是非台湾国防医学院を検討してみてください。</p>	
<p>Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>英会話には自信がなかったが、Google翻訳やChat GPTを駆使すればどうにかだったので、そこまで不安になる必要はなかったと思う。</p>	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声

留学先・派遣先大学名（国名）：台湾国防医学院(台湾)



Q. 今回の留学プログラムの感想

留学先の病院で行われている医療の大半は日本の病院で行われている医療と同じであるため、私がこれまで学んできた医学知識や技術が海外でも通用することを実感しました。一方で東洋医学などの日本ではあまり行われていない医療や、医療システムの違いなども見出すことができ日本の医療のあるべき姿などを考える貴重な機会となりました。現地の医師や学生は医療の現場では中国語だけではなく英語も用いており、国際的に活躍する医療者となるうえで英語の重要性を感じました。台湾人は親日な人が多く、文化も近いところがあるためとてもなじみやすい環境だと感じました。現地の学生ははとてホスピタリティーの高い人たちで日本の学生に非常に親切にしてくれるため、現地の学生と仲良くなれたことは今回の留学において良い経験となりました。

Q. 健康管理や危機管理について

現地の水道水は飲めないため、コンビニなどで水を買うか寮のウォーターサーバーを利用しました。滞在中、スマホの充電ケーブルをなくしました。そのときは現地で新しいものを買って調達できましたが、高価すぎるもの、なくすと困るものは極力持って行かないほうが無難です。

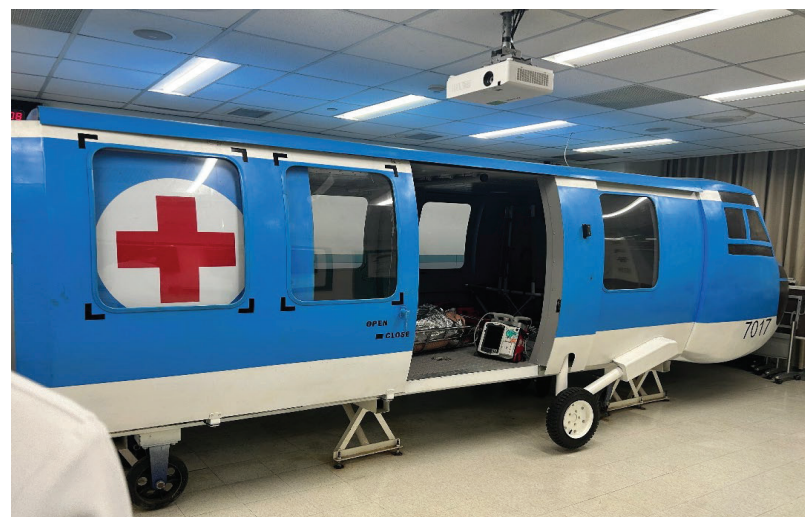
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

台湾国防医学院は留学にかかる費用が安く、現地の学生が案内してくれるため留学に不安がある人でも挑戦するハードルが比較的低いと思います。実習が終わった夕方以降には、現地の学生が夜市や台北101などの観光地にも連れて行ってくれ、食事と一緒にすることが多いので医学を学ぶだけでなく現地の学生と交流を深めることができるため公私ともに楽しみたい人にオススメです！

Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

英語を大学での授業以外あまり使っていなかったので英語力に不安がありました。また渡航前に準備する書類が思いのほか多いので計画的に準備することをお勧めします。

留学中のお気に入りの写真



コメント：大学内に軍事施設のシミュレーションがあるのは国防医学院ならではです！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先（国名）：国立台湾大学（台湾）


<p>Q. 今回の留学プログラムの感想</p>	<p>台湾最大級の病院である国立台湾大学の心臓血管外科で、2週間臨床実習を行いました。 2週間という短い期間だからこそ、毎日の学ぶ機会を逃さないように自ら指導医の先生に掛け合うことで、もともと興味のあった小児循環器の手術も見学でき、学生同士で解剖モデルを作成し手術のシミュレーションをする講座にも参加できました。もちろん中国語での日常診療について行くのは大変でしたが、学生や先生方と英語でコミュニケーションをとり、自分なりに実習内容をアレンジできました。そんな今回の臨床留学は、自分がどんなことに興味があるのかを知るきっかけにもなったと考えています。</p>	<p>留学中のお気に入りの写真</p>  <p>コメント：九份で見た景色はとても綺麗でした！</p>
<p>Q. 健康管理や危機管理について</p>	<p>水はコンビニで買って飲むようにして、ナイトマーケットでも、なまものや氷などは避ける用にして過ごしました。そのせいもあってか2週間大きく体調を崩さず生活できました。危機管理のために貴重品は体の前にかけてボディバッグに入れるようにしました。</p>	
<p>Q. 今回の派遣先への留学を希望している先輩たちへのメッセージ</p>	<p>留学に行くことでマッチングの準備や医学の勉強、スキルの面で日本で実習している人と差を付けられてしまうと思う人もいますが、私はそこまで差はつかないと思います。むしろ海外に行くことで海外と日本の医療現場の違いを知ることができ、日本の医療の恵まれている点を知ることができたり、自分の実習に対する向き合い方をいい方向に変えることができると思います。留学に行こうか迷っている人がいたら、ぜひ応募をしてみて、現地の病院で自分がやりたいことや興味のあることに全力でチャレンジして欲しいと思います。</p>	
<p>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>どの大学がどんな規模の病院かという情報や、どの診療科が有名という情報は自分で調べるしかなかったので、選ぶのが大変でした。台湾には今まで行ったことがなかったということもあり、台湾に希望を出して留学することになりました。受け入れ先が決まってから診療科を選ぶ際も、選ぶのが難しかったですが、興味がある分野を選んで応募しました。</p>	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：台湾 国立台湾大学

<p>Q. 今回の留学プログラムの感想</p>	<p>私は国立台湾大学に1ヶ月間留学し、脳神経外科と整形外科を2週間ずつローテーションさせていただきました。国立台湾大学病院は台湾で最高の大学病院で、台湾中から最高峰の医療を求めて患者さんが訪れるような病院でした。そのため5年生の大学の実習で見たことのある手術から珍しい疾患の手術まで様々な症例を見学することができ、また日本の医療との違いを知ることができました。また国立台湾大学の先生方とお話をさせていただく機会では疾患についてのみならず、台湾の医療制度とその実際について教えてくださり、とても勉強になりました。国立台湾大学の6年生と5年生の学生さんと英語を用いてたくさん話すことができ、勉強の面で非常に刺激になると同時に楽しい時間を過ごすことができました。今後の私のキャリアにとって非常に学ぶことの多い留学となりました。ありがとうございました。</p>	<p>留学中のお気に入りの写真</p>  <p>コメント：</p>
<p>Q. 健康管理や危機管理について</p>	<p>パスポートとお金は肌身離さず持ち歩いていました。室内は冷房が強いため、上着を持って行った方が良いと思います。</p>	
<p>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>私は今回が初めての留学でした。うまくコミュニケーションを取ることができるかわからず非常に緊張しましたが、台湾大学の医学生の友人や日本の他大学の医学生の友人を作ることができ、たくさんの思い出ができました。国立台湾大学では英語で医療を運用しているため医療について英語で学ぶことの難しさと楽しさを経験できます。休日には国立台湾大学医学生や日本の他大の医学生（もちろん自大学の同級生も含めて）たちと観光に行くことができたのでとても充実しており、私個人としては国立台湾大学での1ヶ月留学は大学生最高の思い出となりました。</p>	
<p>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>ホテルの滞在先を探すのに一苦労でした。滞在先でのQOLに直結するため、ホテルは前もって準備した方が良いと思います。</p>	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）： 国立台湾大学

<p>Q. 今回の留学プログラムの感想</p>	<p>整形外科と心臓血管外科を2週間ずつ見学した。整形外科では選んだ手術を見学した。心臓血管外科では手術見学やICUで循環補助装置について課題やディスカッションを通して学習をした。術式は同じでも使用する機材など様々な違いがあり、日本との違いを感じることができてとても興味深かった。知り合いも誰もいない環境で先生方に0から指示を仰ぎ、文化も日常の環境も異なる現地の学生や世界各国の留学生と交流を深めていく経験は新鮮で刺激的だった。日本では知り得ないような進路の話などもあり、自身のキャリアを考えていく上で大きく視野が広がりモチベーションが向上したと強く感じる。また、海外大学の学生はとても医学英語に精通しており、自分の英語力の未熟さを頓に感じていた。日本に帰国してからも「0から」始めることに抵抗を感じなくなり今後の学習のモチベーションが大きく向上した。</p>	<p>留学中のお気に入りの写真</p> A photograph of a busy street in Taiwan. In the foreground, a long line of various colored scooters is parked along the curb. In the background, there are cars, buildings with signs, and a clear sky. A blue banner with white text is overlaid at the top of the photo. <p>コメント：台湾では1人1台と言われるほど、老若男女が原付バイクに乗っています！</p>
<p>Q. 健康管理や危機管理について</p>	<p>台湾は非常に治安が良く危険を感じることは全くなかった。夜市や九份といった人の多い観光地でも何かを盗られることはなく、日本で日常的に気をつけているように過ごしていれば大きな問題はないように感じた。</p>	
<p>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>台湾で最も歴史のある病院の一つで、先生方も積極的に様々な形で学習を提供してくださるので「何もできなかった」と感じることはないと思います。また、ドイツやフランス、オーストラリア、広島など世界中から多くの留学生が集まるので、台湾だけにとどまらない国際交流をすることができます。交流を通じて世界中の医療や医師のキャリアについて知る機会となり、自身のこれからのキャリアだけでなく人生そのものの視野が広がる貴重な経験となります。国立台湾大学への留学の際には、積極的に出会うすべての方々と親睦を深めてみてください。</p>	
<p>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと</p>	<p>留学プログラムについては湯島海外留学グループの方々をサポートしてくださったので苦労や不安はありませんでした。台湾情勢については少し不安がありましたが、留学中は大きな事件などもなく無事に帰国しました。その時々で情勢を判断するしかないと思います。</p>	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：国立台湾大学（台湾）

Q. 今回の留学プログラムの感想	<p>実習期間中は、EMR、ESD、underwater ESDといった高度な内視鏡技術に加え、肝生検（liver biopsy）やラジオ波焼灼術（RFA）などの手技も間近で見学することができました。それぞれの処置における術者の工夫や繊細な操作に触れることで、教科書や講義では得られない実践的な知識を深める貴重な経験となりました。また、英語で行われるカンファレンスや回診にも積極的に参加し、自分の考えを簡潔かつ的確に伝える表現力や、異なる文化的背景を持つ医療スタッフとの円滑なコミュニケーション能力が向上したと実感しています。さらに、現地の学生や医師の高いディスカッション能力にも大いに刺激を受け、自身の臨床的思考力や課題意識をより一層高めることができました。</p>	
Q. 健康管理や危機管理について	<p>滞在中は感染症対策と体調管理を最優先に心がけました。病院内では常にマスクを着用し、帰宅したらうがい・手指消毒を徹底しました。現地の水や食事が体質に合うか不安もありましたが、屋台などの衛生面が不明な場所では火の通っていないものの食事を控えました。また、台湾では突然のスコールや地震もあり得るため、現地の気象情報や災害対策を確認し、必要な連絡手段（スマホ、Wi-Fi、緊急連絡先）を確保しておくことが重要だと感じました。</p>	
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	<p>国立台湾大学病院での実習は、アジア有数の高水準な臨床現場を体感できるまたとない機会です。内視鏡や肝疾患治療などの分野に関心がある方にとっては特に実りが多く、見学だけでも得られる学びは非常に深いものがあります。英語でのコミュニケーションに不安がある方も、現地の先生方はとても親切で丁寧に接して下さるため、心配はいりません。限られた期間であっても、先生と相談して実習の予定を組むことができるので、自分のペースに合った実習を行うことが可能になっています。</p>	
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	<p>あまり大きな不安はありませんでした。強いて言うなら台湾有事の件で、渡航が中止になるのではないかと心配していました。宿は一緒に回る友人とシェアハウスをしていました。その他書類も適宜確認し合いながら準備を進めていきました。</p>	

コメント：一緒に国立台湾大学を回った同期と、病院のエントランスにて。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：国立台湾大学（台湾）

留学中のお気に入りの写真



コメント：夕飯を食べに行った士林夜市の写真です。マンゴーかき氷が忘れられない！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

Q. 今回の留学プログラムの感想	実習は自分の興味に合わせて見学したいものを選択させて頂けるようになっており、EMR・ESD・ERCP・RFP・肝生検など様々な手技を見学させて頂いた。学生・先生方はみな真摯に医学に取り組んでおり、自分の考えの甘さに痛感させられるようであった。カンファレンスなどでも現地の学生はほぼ全員が英語でプレゼンできるほど堪能であり、非常に衝撃的であった。また、実習外では2週間住んだことで台湾文化に深く触れる毎日を過ごすことができ、日本にいただけでは感じることはできなかった文化や価値観を知ることができた。生活・医療どちらにおいても少し前の日本を見ているようで、ノスタルジックな気分が味わえた。2週間と短い期間ではあったが両国の良い面・悪い面が見えた期間でもあり、留学前と比べ視野はグローバルなものになったと感じている。
Q. 健康管理や危機管理について	特に夜市ではスリに注意し、バッグは体の前にして手で押さえていた。また、蚊が大量にいたため、虫よけスプレーを1日に何度も塗り直していた。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	6年生は限られた時間の中で実習や試験対策、部活などをこなす必要があり、留学まで考えられない人もいっぱいいるかと思いますが、ただ、他国の優秀な大学に留学し、現地で大きな刺激を得るといったことは必ず皆さんの財産になると思います。ましてや奨学金のもとほぼ無料で留学に行ける、2-4週間の期間をもらえる、というのは科学大の6年生だからこそできることです。是非日本とは違う環境で医療や文化に触れ、自分同様何かを感じてくれれば嬉しいです。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	英語が通じるかどうか、現地での生活は持参のものだけでできるのか、通学や移動手段に困らないかなど。

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：マヒドン大学ラマチボディ病院

Q. 今回の留学プログラムの感想	救急科の実習に参加しましたが大変刺激的でした。症例数が多く、救急搬送とウォークインどちらも絶えず患者さんが来るので、1日中いても飽きません。4週間で典型的な疾患は一通り、珍しい症例も経験できます。患者さんとのやり取りはタイ語で行われますが、先生・学生が同時に英語で説明して下さります。また、タイでは保険制度上CT撮影のハードルが高いため、問診・身体診察・エコーを丁寧に先行鑑別を絞ります。救急外来におけるPOCUSを教えてもらったのは大変貴重な経験でした。タイの学生が実践的な知識と技術を持っているのを目の当たりにして、日本に帰ってから勉強に励みたいと考えるようになりました。タイの国民性としてみなさん優しく1日目からとても過ごしやすいです。4週間、毎日笑顔で実習を過ごすことができました。
Q. 健康管理や危機管理について	タイでは、シートベルトをつける人が少なく、ウインカー無しで追い越す車もいます。また、道路を渡る際、車は譲ってくれないので横断する際は気をつけてください。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	タイの医学生はとてもモチベーションが高く優秀です。卒後、地方で働くことが義務なので、即戦力として働けるように学生のうちから実践的な知識を身につけていて、手技も多く経験しています。また、医学をタイ語と英語両方で学んでおり、実習中、講義中は適宜英語で説明してくれました。学生から、日本での治療法やガイドラインについて質問されるので、国試レベルの知識と医学英単語を持っておくとスムーズかもしれません。みなさん優しいので安心して留学に臨んでください！
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	狂犬病が不安でしたが、ワクチンが航空券並みの値段だったので接種せずに行きました。バンコクでは野良犬を見かけることはなく、郊外でも犬が近づいていくことはないもので安心でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：スネークファームの写真。タイの学生はヘビ咬傷についても詳しいです。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：マヒドン大学ラマチボディ病院（タイ）

Q. 今回の留学プログラムの感想	形成外科への配属を選びましたが、日本での実習と同じで割と放任気味でした。しかし医者はみんな英語が話せるので、わからないことを質問すると色々教えてくれます。ラマチボディ病院には鼻形成で有名な先生がいてイタリアやインドネシアから見学に来た医者もいました。科学大の形成外科で見たことのない手術（浅腸骨動脈回旋枝穿通皮弁や陰茎形成術など）を見学できたのも面白かったです。私生活もかなり充実しました。バンコクはナイトライフが充実しているし日頃の移動がGrabタクシーなので、ナイトマーケットやバーなどで深夜まで遊べます。タイ人学生が結構な頻度で遊びに誘ってくれるので、積極的にイエスと言って良かったと思います。
Q. 健康管理や危機管理について	狂犬病ワクチンを打ってなかったので野良犬には気をつけました。アユタヤでぼったくられたこと、留学中にPCが壊れたこと以外は被害はありませんでした。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	現地の学生がフレンドリーなので、日本人学生とだけ固まらず積極的に現地の学生と交流しましょう。学業的に何か成し遂げた訳ではありませんが、それ以上に観光・娯楽が楽しいです。元々第1志望の渡航先ではありませんでしたがタイに行ったら良かったと思います。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	寮の設備と実際の実習内容が事前にわからず、余分に荷物を持っていくことになりました。また留学が就活と重なってしまったのも大変でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：タイの国教は仏教なので、大学の中にもお寺があります。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：マヒドン大学シリラート病院（タイ）

<p>Q. 今回の留学プログラムの感想</p>	<p>小児科で2週間研修しました。タイでは母子感染症の予防が課題となっており、専門に診療するクリニックも見学させていただきました。また、都心部と地方との医療格差も問題となっていました。私が実習したシリラート病院は日本と同等の医療水準でしたが、地方には十分な数の小児科医がいないそうです。日本だと乳児健診で早期に見つかるような疾患が、重症化して搬送されてくるのを何度も見ました。現地の医学生は主体的に診療に関わっており、非常に刺激を受けました。タイの学生にはとても良くしてもらい、今後もし彼らが日本に来るときはお返しをしたいと思います。お互い良き医師となって再会できるよう、勉学に励みたいと思います。</p>
<p>Q. 健康管理や危機管理について</p>	<p>siamなどの繁華街ではスリに気を付ける。友人のリュックサックがいつの間にか開けられていた。幸い何も取られていなかったが、リュックは前に抱える。衛生面にも気を付ける。飲食店であっても、机は汚いと考えた方がいい。辛い食べ物と冷たい甘味を食べすぎて、留学後半はおなかの調子が悪かった。</p>
<p>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>もし2週間の短期留学で、行先に悩んでいたら、シリラート病院はとてもオススメです！タイの先端医療を見学し、優秀な学生と知り合い、近くの市場ではタイのローカルフードを楽しむこともできます。学内実習では味わえない非日常感と異文化交流をぜひ体験してみてください。</p>
<p>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>マッチングの準備と時期が被ると大変かと不安に思っていたのですが、幸い5月の派遣だったため特に問題なく終えることができました。</p>



コメント：実習最終日の集合写真

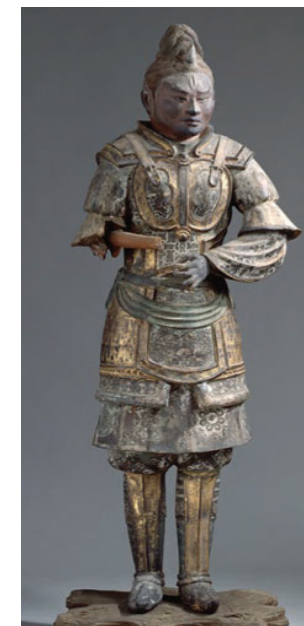
ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：マヒドン大学シリラート病院（タイ）

留学中のお気に入りの写真



コメント：同じインド神kinnara像だが、タイ（左）と日本（右）でだいぶ違う

<p>Q.今回の留学プログラムの感想</p>	<p>総じて行ってよかった。海外に慣れていない自分にとっては、2週間という期間も適当だった。 リハビリ科を見学したが、想像以上に日本で提供される医療と、手段や質共に異なっていた。日本人から見ると、マッサージや鍼を多用する点や、不満の多い患者には老いに抗うな、白黒思考をやめると諭したり、発達に問題がある子供には、命令せずできるだけ自然に欲求を引き出そうとしたりと、仏教色が濃く出ていると思った。日本の医療に活かせる点も多くあり、興味深かった。</p>
<p>Q.健康管理や危機管理について</p>	<p>お腹を壊すと言われていたので覚悟していったが、屋台の氷や生魚(スシロー)等食べても特に問題はなかった。むしろ環境の変化や冷たいもの、辛いものにより下してしまう。水道水は飲まないほうがいい。スリが多いらしいので、リュックサックは常に前から背負っていた。ショルダーバッグとかの方がいいかもしれない。シリラート病院は市街地のバンコクと川を隔てた向こう岸にあり、船で渡れるが、19：00くらいまでしかなく時間も読めないので注意。</p>
<p>Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>自身のリスニング力が低いこともあるが、タイ人の英語がタイ語訛りすぎていてなかなか聞き取れなかった。consciousness をコンチャスネスと発音するなど、シャとチャの区別が曖昧な模様。 思っていたより現金しか使えない店が多く(コンビニとかも何円以上じゃないとダメとかある)、スワンナプーム空港で多めに両替しておくのがおすすめ。1人¥30000くらい？</p>
<p>Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>英語について自信がなかったが、現地の人でも丁寧に平易な英語で解説してくれたので、本当にありがたかった。また、ぼったくり等の詐欺にも警戒していたが、観光地の屋台やGrabでないタクシー等を避ければ、特に困ることはなかった。トイレについても、流せないところが多いがペーパーは備え付けのところが多い。ポケットティッシュを大量に持っていたが結局使わなかった。</p>

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：マヒドン大学シリラート病院（タイ）

<p>Q. 今回の留学プログラムの感想</p>	<p>タイでの病院実習では、実際に術野に入り、開腹手術や腹腔鏡手術などを見学しました。日本ではあまり見ることでできない手技にも触れることができ、大変貴重な経験でした。また、病態や検査法、治療方針などの説明が英語で行われるため、実習そのものが英語学習としても非常に有意義でした。英語でのコミュニケーションにおいては、基本的な医学用語や臓器・疾患名を正確に理解し、表現できることが重要であると感じました。疾患名が分からなかったり、質問ができなかったりすると、理解が不十分になるため、事前に英語の勉強しておくことの大切さを実感しました。英語を積極的に使わざるを得ない環境に身を置くことで、英語を話す姿勢や積極性が自然と養われ、とても良い学習機会でした。</p>	<p>留学中のお気に入りの写真</p>  <p>コメント：アユタヤに行き、象に乗りました！日本では出来ない貴重な体験！</p>
<p>Q. 健康管理や危機管理について</p>	<p>タイでは食事によってお腹を壊すことがあると聞いていたため、滞在初週は慎重に食事を選んでいました。しかし、慣れてきた頃に油断してローカルな飲食店で食事をしたところ、翌日に発熱と腹痛の症状が出てしまいました。現地での食事は魅力的ですが、衛生面には十分注意し、信頼できる店や清潔な食事を選ぶことが大切だと感じました。</p>	
<p>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>留学をするとすると、不安はつきものだと思います。留学先の学生や先生とうまくコミュニケーションをとれるかと心配になることもありましたが、タイの先生はみんな優しく、英語話まっても優しく待ってくれるので安心して実習を行える環境だと思います。環境に飛び込む勇気だけあれば、楽しく過ごすことが出来、充実した留学生活を送ることが出来ると思います。</p>	
<p>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>英語の会話力に自信がなかった。また、海外での一人暮らしをしたことがないなど、不安をたくさん感じていました。</p>	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：チュロンコン大学（タイ）

Q. 今回の留学プログラムの感想	タイの放射線科は画像撮影や診断だけではなく、放射線を扱う簡単な手術も行っており、術野に入ることができた。日本とは医療者や患者の放射線被曝に対する意識が異なるのか、手術中に複数回CTを撮り直しており、印象的だった。CT、MRI、腹、神経、小児など放射線科の中でも専門分野で細分化されており、全ての分野を満遍なくローテートした。すでにローテーションした日本の診療科とタイではどこが違うのかについて着目しながら実習し、そのことを指導医の先生と話してみると毎日発見があり、有意義だった。さらに毎日画像を見て必ず画像についての意見を求められるため、画像読影技術が向上した。また、1ヶ月間新しい環境に身を置くことで日々の買い物をするだけでも新鮮に感じられた。
Q. 健康管理や危機管理について	タイでは横断歩道が車優先社会となっており、歩行者側の信号が青であっても目の前を車がどんどん通っていく。日本のように車が歩行者に譲るという文化は全くないので注意が必要。持ち物は必ず体の前に置くようにしていたため、被害には遭わなかった。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	世界各国から留学生が集まっているためか、一部の診療科は狭き門となっており、必ずしも第一希望診療科が通らないかもしれませんが(僕がそうでした)。ただし、どの診療科に配属されても素晴らしい実習環境があり、指導医の先生も英語で大変丁寧に教えてくれるので実習で困ることはないと思えます。診療科の先生とのコミュニケーションは英語で行われるので自分の診療科に関連する医学英語と日常会話は出来るようにしておく方が良いです。帰国時にはタイと大学に愛着が湧いて、もう少し良かったと思うでしょう。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	人生初の一人暮らしであること、郊外や屋台では英語が通じないこともあると聞いていたこと、直前の地震で宿泊場所が出発日ギリギリまで決まらなかったことなどあるが、杞憂だった。

留学中のお気に入りの写真



コメント：エラワンミュージアムの入り口内部です！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：チュラロンコーン大学（タイ）

Q.今回の留学プログラムの感想	<p>私が回らせていただいた小児科は現地の学生もローレート人数が多く（全病棟合わせて17人！）、彼らの優しさに助けられていました。実習中は英語で丁寧に疾患について教えてくれたり、一緒にレクチャーを受けたり（タイ語ですが）、一緒に昼食を取ったり、日本とタイの医療問題の違いや働き方の違いについて意見を交換しあったりと、非常に楽しい実習でした。</p> <p>外来見学では日本ではレアでもタイではメジャーな疾患を知ることができて非常に興味深かったです。</p>
Q.健康管理や危機管理について	<p>タイは基本的に屋内はエアコンが強く非常に寒いです。1つとても寒い病棟があり、私は白衣の下にカーディガンや時には薄いダウンも着ていました。寒さに弱い方は気をつけてください。</p>
Q.今回の派遣先への留学を希望している先輩たちへのメッセージ	<p>6年次の短期留学は申し込みのハードルが低いので、検討されている方も多いかと思います。今しかできない経験なのでぜひ参加してみてください。4週間あると「観光」ではなく「生活」になり、また違うタイの一面を感じることもできるかもしれません。</p> <p>チュラロンコーン大学は世界中色々な大学からの留学生を受け入れているので彼らとの交流も楽しんでほしいと思います。</p>
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	<p>医学英語の知識が不足している自覚があり、現地での実習をどの程度理解できるか心配でした。</p>

留学中のお気に入りの写真



コメント：チュラロンコーン大学の医学生たちとの昼食は楽しい時間でした。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。

国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

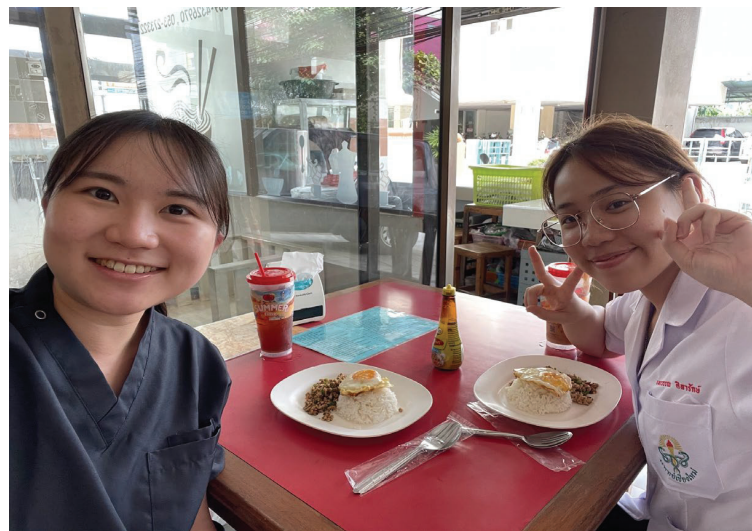
海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：チェンマイ大学（タイ）

<p>Q.今回の留学プログラムの感想</p>	<p>私は小児科を回らせていただき、1週目はPICU、2週目は血液腫瘍グループで実習しました。カンファレンスや回診は基本タイ語で進んでいくのですが、合間に先生や学生が英語で説明してくれたので、何とか理解することができました。症例も日本とは少し異なっていて、非常に興味深い実習でした。PICUには学生がいなかったため2週目は学生がいるところに配属してもらうようお願いしたのですが、学生がいるかないかのでまいぶ実習生活は変わってくるように思います。</p>
<p>Q.健康管理や危機管理について</p>	<p>そこまで治安も悪くなく、食べ物や飲み物についても屋台で食べても問題ありませんでした。野菜が少ないので、ビタミン剤や整腸剤を持っていくことをお勧めします。暑さ対策は必須です。</p>
<p>Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>実習でリクエストがあれば、診療科の先生に相談すると親身になって考えてくださると思います。タイの人は優しい人が多く、治安も問題ないので、快適に過ごせるかと思えます！チェンマイは小さい都市なので、2週間もいるとまいぶ満足しますが、とても良い場所なのでまたいつか行きたいなと思っています。実習、楽しみつつ頑張ってください！</p>
<p>Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>タイ語が全くわからないので、実習や生活面において言語の面での不安が大きかったです。実際行ってみると、学生は英語が話せたり、街中でもGoogle 翻訳で何とかなったりと、そこまで困ることはありませんでした。</p>

留学中のお気に入りの写真



コメント：実習で一緒だった学生とお昼ご飯を食べたときの写真です

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学/派遣先 (国名) : チェンマイ大学 (タイ)

<p>Q. 今回の留学プログラムの感想</p>	<p>不安の気持ちがあるまま実習初日を迎えたが、受け入れ先の分野が他大学からの実習生に慣れていたこともありとてもあたたかく歓迎してもらえました。当初のスケジュール以外にも、自分から参加させてほしいと伝えることで+αの活動にも参加することができ、現地の学生や先生方と交流の時間を多く持つことができたのがとても良かったです。実習中はタイ語がメインで用いられますが、英語でも説明してくださるので、理解しながら進めることができました。タイと日本の医療における類似点、相違点について、話しながらお互いに気づけあえたのは留学でしか得られない経験だったと感じています。医療英語の点では知識がなくなっていくのが大変な時もあったため、今後英語でも医療をできるように勉強をしたいという強いモチベーションに繋がりました。生活面では、タイ料理や雰囲気がとても好きだったのもあり、とても快適に過ごすことができました。とても貴重で、自分の人生を豊かにするような時間になりました。</p>	<div data-bbox="1142 354 1928 438" style="text-align: center;"> <p>留学中のお気に入りの写真</p> </div> <div data-bbox="1142 526 1928 1125"> </div> <div data-bbox="1142 1316 1928 1351" style="text-align: center;"> <p>コメント：先生たちとランチに！ Aroi !</p> </div>
<p>Q. 健康管理や危機管理について</p>	<p>暑さ対策（帽子、アームカバー、羽織もの、サングラスなど）は考えておくとよいです。また、不安なタイミングはあまりありませんでしたが、パスポートやお金などの貴重品の管理について、複数箇所に分けて保管する、ポーチを常に肌身離さず持ち歩く、毎回スーツケースには鍵をかけるなど、気を付けるに越したことはないと思います。</p>	
<p>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>チェンマイはタイの中でも北部にあり、街や人の雰囲気や食事、病院に来る患者さんの特徴も少しバンコクとは違います。都会すぎない場所での医療や生活を経験してみたい、と思う方にはとてもおすすめです。強い志をもって留学に挑戦することも素敵ではありますが、そこまで構えずに来てみても、自分の足りない所、反対に意外と通用するところ、予想もしていなかった興味、世界の同世代の医療関係者との出会い、なにかしらは持ってかえることができる時間になるはずですよ。なので自分の中のハードルを上げすぎず、応募してみてください。特に、東南アジアに初めて行くことになる方など、生活面での不安などあるかと思いますが、遠慮せず気軽に連絡して頂けたらお答えします！</p>	
<p>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>英語とタイ語での実習のイメージがわからなかったこと、医療英語などもほとんど対策できないままの渡航となったことが不安でした。実際に始まってからは、その不安はなくなりました。</p>	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声

留学先・派遣先大学名（国名）：チュラボンロイヤルアカデミー（タイ）



Q.今回の留学プログラムの感想	もともと英語が苦手で、特にスピーキングはほとんど訓練していなかったこともあってとても不安でしたが、拙い英語でもなんとか通じることが実感でき、将来の留学のハードルが一段階下がったような気がしました。実習内容は日本での実習と大きく変わりませんでしたが、現地の先生方や学生との交流はとても貴重な経験になりました。現地の人たちはとても優しく、積極的に教えてくれるほか、質問もしやすい雰囲気でした。日本と大きく文化が変わるといったことはなく、生活するのに大きな不便はありませんでした。総じて貴重な景観になったと思います。
Q.健康管理や危機管理について	内と室外の気温差が極めて大きく、一度体調を崩してしまいました。バンコク市内は治安が良く、トラブルに巻き込まれることはありませんでしたが、病院の近くにスラムのような場所があり、そこには近づかないようにしていました。
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	バンコクは治安もよく、移動もタクシー配車アプリを使えばトラブルなく可能なので、とても生活しやすかったです。現地の人たちがとにかく優しく、何か困ったことがあればすぐに助けてくれます。初めての海外での生活で自分も不安に思っていたのですが、振り返ってみればとても満足のものでした。留学と聞くと身構えてしまうかもしれませんが、そこまで大変な思いはしないと思います。貴重な経験になりました。
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	自分の英語力为本当に実習が成立するのかが不安でした。また、現地での移動手段を事前にきちんと把握しておらず、不安でした。

留学中のお気に入りの写真

A photograph showing a person climbing a large indoor rock wall. The wall is covered in colorful climbing holds. Several people are sitting on the floor in the foreground, watching the climber. The setting appears to be a modern gym or recreational center.

コメント：バンコクでボルダリングをしている姿。現地の人に見られてるのに気づきません

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：チュラボンロイヤルアカデミー（タイ）

<p>Q. 今回の留学プログラムの感想</p>	<p>最も大きかったのは留学生の立場になったことだと思う。今回は外科を選択しオベをたくさん見学させてもらったが、タイ語の会話が全くわからなかった。それでも現地の学生や研修医が時々翻訳をしてくれてとても助かった。さらにランチや夕食のことも心配してくれてたくさんのおすすめをしてくれたり、実際に連れて行ってくれたりしてくれたその心遣いに感謝しなかった。実際これまで医科歯科でも留学生と話すことはあっても、時間が限られており、ご飯に連れていくことはほとんどなかった。留学生の立場になって改めて実感した言語の壁と留学生特有の孤独感を体験したことで、これからは今まで以上に積極的に日本へ来てくれた留学生と交流しようと思うようになった。</p>
<p>Q. 健康管理や危機管理について</p>	<p>薬に関して。タイ料理は元々好きだったが、やはり現地は刺激が強いのので、整腸剤はある程度持って行った方が安心かも。自分自身は同期から時々薬をもらっていた。治安に関して。バンコクは基本的に安全だが、ナイトマーケットなどの人の多いところや暗いところではスリに注意した。タクシーはメーターを回さないこともあり面倒だと感じたため、電車がGrabを使った。食に関しては途中で日本食が恋しくなり、とんかつ和幸とスシローに行ったがとても美味しかった。タイには日本食レストランも多く、大戸屋も味は美味しいと聞いた。また抹茶味のKitkatなどあるにはあるが、やはりジャンキーなものが多いので、好みのお菓子は日本から持って行ってもいいかもしれない。</p>
<p>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>学生という比較的自由が効いてなんでも質問できる立場で海外の病院へ実習ができることは最初で最後だと思います。留学生という立場になって気づく視点もたくさんありましたが、試されることも多くありました。この経験は早ければ早いほどいいと思いますし、海外に不安がある人も、2週間、かつ現地には同じ時期にたくさんの医科歯科生がいてすぐに会えると思えばきっと少しは安心して行けるのではないのでしょうか。何かあったら遠慮なく質問してください。</p>
<p>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>HSLPの授業も終わって久しく、しばらく英語を話していなかったので心配だったが、実査に行ってみると英語が第二言語の人ばかりだったので、同じレベルの英語をお互い使っていてあまり不自由は感じなかった。もってタイ語を身に付けてからいけばより楽しめたのではと思う。医科歯科に来ているタイの学生を捕まえてタイ語を教えてもらってから行きたかった。</p>

留学中のお気に入りの写真



コメント：現地の研修医がとても優しくしてくれました！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：チュラボーン大学(タイ)

<p>Q.今回の留学プログラムの感想</p>	<p>腫瘍内科で臨床実習を行いました。チュラボーン病院は、将来的にがん専門病院としての発展を目指しており、多くの腫瘍内科医が在籍する中で、活発な臨床と研究が行われていました。特に分子標的薬「トラスツズマブ」の製造に取り組んでいるのが印象的でした。今年中にも出荷される予定であり、高額な薬剤のために治療を受けられない方々にも希望を届けたいという思いが込められていました。実習では、外来及び病棟での診療見学、訪問診療への同行、カンファレンスへの参加など、幅広い経験を積むことができました。限られた期間ではありましたが、がん医療の最前線に触れ、国や地域による医療の違いや課題について考える機会となり、非常に充実した経験となりました。</p>	
<p>Q.健康管理や危機管理について</p>	<p>宿泊させていただいた寮は新しく清潔で、病院もできたばかりで最新の設備が整っており、病院の周りも安全でした。タイの方々皆さん親切で、安全に過ごすことができました。しかし交通量が多い道を渡る場合は車やバイクに十分注意して渡る必要があります。</p>	
<p>Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>問診や外来診療は基本的にタイ語で行われますが、随所で英語で説明をしてくださり言葉の壁を感じることなく、多くの学びを得ることができました。腫瘍内科のプログラムには、病棟や外来での見学に加えて、訪問診療や腫瘍放射線科の見学も含まれており、がん医療を幅広く学ぶことができます。また、先生方や学生の皆さんは温かく、積極的に話しかけていただけるので、自然と交流が深まり、多くの友人を作ることができました。実習後には、仲良くなった方々と一緒にタイ料理を楽しむ機会もあり、医療の学びだけでなく、日常の交流も含めてとても充実した時間を過ごすことができました。</p>	
<p>Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>タイに行くのは初めてで、現金をどれくらい持って行った方がいいのか、食べ物・生活必需品はどこで買うのかなど不安に思っていました。しかし、初日に先生が、近くのレストランの場所などを大変親切に教えていただき困ることなく過ごすことができました。本当に皆さん親切なので何かわからないことがあれば、周りの人に伺ってみるといいと思います。</p>	

**コメント：Chulabhorn大学留学希望の方、特に腫瘍内科を考えている方は詳しい様子を
お伝えできるのでいつでも気軽にご連絡ください！**

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：ソウル大学（韓国）

<p>Q.今回の留学プログラムの感想</p>	<p>今回は4週間、移植外科・血管外科分野で実習を行いました。特に興味があったのは移植医療ですが、腎臓移植と肝臓移植を見学することができ、非常に貴重な機会でした。ソウル大学病院の様子は日本とほとんど変わらず、医療水準も同レベルです。そういったハイレベルな環境で留学という経験を積むことができ、自分にとって大きな成長の機会となりました。また、現地の韓国人の学生や、同じく留学に来ていた他国の学生とも英語で交流することができ、国際的な人脈を広げるきっかけとなりました。英語はある程度伝わりますが、それでも韓国語という独自の言語を主体とする国で1ヶ月間過ごすことは適度にチャレンジングな経験で、だからこそ一歩踏み出す力を与えてくれる環境だったと思います。</p>
<p>Q.健康管理や危機管理について</p>	<p>韓国は治安がとても良く、注意はしていましたがスリ等のトラブルに巻き込まれることは全くありませんでした。一度クレジットカードを落としてしまいましたが、数分後に見つけたときには同じ場所にあり安心しました。</p>
<p>Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>ソウル大学は日本の大学病院と比べても医療水準が高く、先進的な医療を見学できる機会です。海外の大学で臨床実習できる機会は今しかないと思うので、積極的にチャレンジしてみてください。特に、韓国は日本から非常に近く、文化的にも似ている部分が多いため、海外での生活に不安がある人でもとても安心して過ごすことができます。</p>
<p>Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>韓国語を全く話せなかったので現地であまくコミュニケーションを取れるか不安でした。ソウル大学の先生や向こうの学生はたいてい英語でコミュニケーションを取れるので大丈夫でしたが、病院内の表示はハングルが多く苦労しました。</p>

留学中のお気に入りの写真

A photograph of a Korean meal (Kimchi) served on a black tray. The main dish is a large black pot filled with kimchi and meat. Surrounding it are several white bowls containing side dishes: a bowl of rice, a bowl of green soup, a bowl of yellow salad, a bowl of red sauce, and a bowl of pickled vegetables. A large green lettuce leaf is also on the tray.

コメント：学食では韓国料理が毎日食べられます。キムチはセルフサービスです笑

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：ソウル国立大学(韓国)

Q.今回の留学プログラムの感想	研修内容については韓国の学生だけでなく、他国の留学生やフェローシップのドクターが多い点で、多様な人との接触できる可能性に恵まれていると感じました。一方で、韓国や他国の学生と関わる機会は多くないので、自分から積極的に機会を作りに行く努力は必要でした。日本と異なる医療を見学するというよりは、多様な人と関わりたい、という人に向いていると思います。生活としては、治安や衛生面でも東京に似ており、海外の生活が不安な人でも快適に過ごしやすいです。台湾やタイに比べると多少物価は高いように感じました。
Q.健康管理や危機管理について	暖房がつかないのは予想外でした（床暖房はある）。自分が派遣された5月は上旬はまだ最高気温が20度以下の日もあり、寒さには気がつけた方が良いと思います。（高張りすぎにも注意）
Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	英語力はそこまで必要ないので、ぜひ気軽に応募してみてください。とても優秀かつ勤勉な学生に驚くと思います。一方で、ソウル大学の本院以外にも派遣の可能性があるので注意してください。希望診療科に、形成外科（人気）を選ぶと分院の可能性が高まります。本院にしかない診療科を選ぶと安全です。
Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	まず、食べ物が辛すぎないかは不安でした。自分の辛さ耐性は、日本では偏差値50-55くらいだと思いますが、特に困ることはありませんでした。また、住居の探し方も難しかったです。Google Mapsでは韓国の乗り継ぎはうまく検索できないので、Naver Maps とAirbnbを照らし合わせて探すことをお勧めします。

留学中のお気に入りの写真



コメント：一緒に派遣された同期1名と現地の学生2名での夕食です。実習での学びだけでなく、学生同士との交流も楽しめました。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：Yongin Severance Hospital（韓国）

<p>Q. 今回の留学プログラムの感想</p>	<p>毎日拘束時間が長く、最初はあまり遊べないことに悲しんでしまいましたが、日本に帰ってきて韓国での2週間を振り返ってみると、非常に充実で満足度の高い留学だったと思います。今回は、入院医学科という診療科所属で、最初の三日間は病院ツアーを含め入院医学科についての講義・病棟実習がありました。院内のすべての人・設備の位置追跡ができるシステムがコロナ禍に役立ったことや、ICUで急変しそうな患者さんのモニターが見れること、カテ室とICUが繋がっていることが日本と違い、印象的でした（これは韓国でも一般的なことでなく、ヨンインセブランス病院の誇りらしいです）。その後は二日ずつ志望科を回り、最終日は学生の発表日でした。私は形成外科・乳房外科・皮膚科を回りましたが、外来見学はもちろん、施術を見学したり術野に入ったりできてよかったです。手術棟内に職員専用の食堂があることにびっくりしました。食事代を給料から引くシステムらしいですが、各科の先生から奢っていただけました。最終日の発表は、特に指定はなく、10分以内に2週間の感想や学んだことを発表する形でした。全体を通して少し残念だったことは、基本英語での会話だったため+韓国は医学用語を英語で学ぶため、通じにくかったことです。その度に韓国語ができる私ともう一人の同期が韓国語で聞き、同期に日本語で通訳しました。</p>
<p>Q. 健康管理や危機管理について</p>	<p>同期とソウルに遊びに行った次の日に、悪寒・発熱・咳嗽がありました。同期全員風邪の症状があり、常備薬飲んだりクリニック受診したりしました。同期の一人が病院の先生に相談したらすぐステロイドを処方していただきました。常備薬を持って行くこと、体調が悪い時は院内の先生に相談することが大事だと思います。</p>
<p>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</p>	<p>現在韓国はストライキの影響でソウル（シンチョンセブランス病院）での留学が難しい状況です。しかし、ヨンインも規模があり、院内には先生しかいないため学びも多いです。積極的に質問しながら見学すればするほど、学びは増えると思います。ただ、英語で説明されると途中からわからなくなってしまう時が来ってしまうので、翻訳アプリは入れておきましょう。生活面でのアドバイスとしては、カカトークを入れておくこと、デリバリーやお店の待機などに使われるため電話番号はあった方が良いということ、常備薬を持って行くことくらいですかね。</p>
<p>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</p>	<p>ワクチン書類の準備が大変でした。実習の間にワクチン打ったり書類書いてもらったりするのが大変だと思いますが、時間的に余裕を持って準備しましょう。</p>

留学中のお気に入りの写真



コメント：最終日にいただいた証明証と延世大学のグッズです。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同

海外留学 先輩の声



留学先・派遣先大学名（国名）：延世大学 Yongin Severance病院（韓国）

Q. 今回の留学プログラムの感想	非常に有意義な留学でした。なんならここでレジデントをやりたいと思っているところです。総合診療科に所属し、最初の日には病院のツアーとオリエンテーション、2・3日目は総合診療科の回診と講義(role of hospitalist/clinical thinking, CV catheter insertion using POCUS, hospital fever)中心の実習になります。その後は2日×3科の実習になります。私は耳鼻科・頭頸部外科、整形外科、胸部外科（心臓の先生が休暇だったので、肺）に行きました。手術見学と回診がメインになります。Energy deviceの使い方やphysician assistantがレジデントの代わりに様々な手技をしていることなど、医療システムの違いを理解することができます。
Q. 健康管理や危機管理について	風邪をひいて実家の近くのクリニックに行きました。AIGに帰国後請求するつもりです。ProFinderアプリで連絡をし、請求方法と必要な書類（診断書とレシート）を指導してもらいましょう。何かあったら大学の先生に相談してください！すごく親切に対応してくれます。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	本当にいい留学先です。韓国の医療制度についてよく説明してくれると思います。今はレジデントがストライキ中で学生も研修医もレジもないので、説明が好きな先生方は本当に喜んで質問に対応してくれます。英語は勉強していきましょう。また、ヨンインの病院が圧倒的にいい留学先だと思います。首都にある病院はレジのストライキで本当に手が回っていない一方、ヨンインでは非常に手厚く指導して下さるしやりたいことが全部できる（行きたい診療科を調整してくれるなど）ので、首都から外れているという理由で選択肢から外すことは勿体ないです。全然ソウルに行って観光もできる距離です。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	ワクチンやレントゲンなど提出するものが多く、少し大変でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：最終日にとった写真です！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際教育課 湯島海外留学グループ 一同